

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 竹の庵

作成日: 平成 29 年 9 月 14 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議のメンバーが固定化して、内容も画一化しているため、新しい参加委員を増員し、会議が充実した内容になるように議題や内容を検討し、参加委員が会議に魅力を感じて、参加したくなる運営推進会議を目指していく。	参加委員を複数の民生委員や地域で活動している有識者、知見者、他グループホームの管理者等に参加要請し、意見や要望、地域の問題等を話し合い、解決に向けて取り組み、ホームの繁栄だけではなく、地域貢献にも取り組んで行く。また、家族にも参加要請をしていく。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み	ベテラン職員と若手がチーム介護に取り組み、利用者の生きがいに繋がる介護サービスを目指し、職員一人ひとりが介護技術と意識の高揚を目指していく。	職員の経験や習熟度だけでなく、介護の勉強をしたい若手にも、外部の研修に交代で参加してもらい、介護知識や技術の向上を目指し、チームで介護に取り組む体制を構築し、利用者の生きがいに繋がる職員の育成に取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。